

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第10回研修を開催しました！」

第10回の研修は、令和6年7月12日（金）に金曜日・土曜日コース合同で、雫石町の有限会社ファーム菅久様及び盛岡市の和野修平様において視察研修を行いました。

ファーム菅久様は、水稻や小麦などを150ha以上作付けをする大規模経営体であり、過去には「日本農業大賞」の個別経営の部の大賞を受賞された実績があり、今回の視察では、菅原紋子常務取締役から経営概況についての講義及び施設のご案内をしていただきました。

法人の概要やスマート農業を導入した効率的な作業方法、菅原常務自らがメディア出演しての情報発信などの取り組みについて紹介していただきました。

また、地域の若い農業者とホップ栽培にも挑戦し、農業をとおして地元を盛り上げていこうとする熱意を感じました。

次に、盛岡市に移動し、和野修平様のミニトマト栽培施設へ伺いました。

和野様は県立農業大学校卒業後、愛知県に本社を置く農業法人に勤務され、ミニトマト栽培に約10年従事し、今年の4月からミニトマト農家として独立されました。

独立するまでの準備やミニトマトの栽培方法、出荷先などについてご説明いただきました。

質疑応答では、受講生よりたくさんの質問が出されましたが、和野様の返答の一つ一つに、ミニトマト栽培に対する情熱と、知見の深さが垣間見え、受講生は、就農への夢と現実を知る良い機会になったのではないのでしょうか。

次回の研修は、7月19日（金）、20日（土）に、南畑コテージむらにおいて、外部講師をお招きして、岩手の花き栽培についての講義、実習では、実習野菜の栽培管理を行う予定です。



法人化の経緯や事業内容について説明する
有限会社ファーム菅久 菅原 紋子 常務取締役



菅原常務から、場内施設・設備の説明を聞く受講生



ミニトマト栽培の概要について説明する
和野 修平 氏



ミニトマト栽培のパイプハウス前で、
受講生の質問に答える和野氏（中央左）